

リバーストランスレーショナルリサーチ(rTR)

臨床事象をもとに非臨床試験による機構解明を経て
創薬、新しい治療法・使用法に繋げる科学

■日時：平成25年5月30日（木） 10:00～17:30

■場所：東京都港区芝公園1-5-30

慶應義塾大学芝共立キャンパス
1号館地下1階マルチメディア講堂

参加無料
定員200名

■プログラム

- | | | |
|-------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 10:00～10:10 | 開会の挨拶 | 日本薬学会会頭 柴崎正勝
学術会議薬学委員長 橋田 充 |
| 10:10～10:40 | rTR の考え方と研究の進め方 | 杉山 雄一 (理化学研究所) |
| 10:40～11:00 | rTRを支える大規模データベースの利用 | 望月 眞弓 (慶應義塾大学薬学部) |
| 11:00～11:25 | カルテ情報と全ゲノムSNP解析に基づくオーダーメイド投薬の確立 | 蓮田 泰誠 (理化学研究所) |
| 11:25～11:50 | rTR アプローチによる薬物誘発性肝障害の解析 | 鈴木 洋史 (東京大学医学部附属病院薬剤部) |
| 11:50～12:15 | 腎臓病治療におけるmTOR阻害薬の可能性を探るrTR | 増田 智先 (京都大学医学部附属病院薬剤部) |
| 12:15～12:40 | 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症の治療を目指したrTR | 林 久允 (東京大学大学院薬学系研究科) |
| 12:40～14:00 | 休憩 (ランチ) | |
| 14:00～14:25 | 抗がん剤による末梢神経障害に対する予防・治療法の開発を目指したrTR | 江頭 伸昭 (九州大学病院薬剤部) |
| 14:25～14:50 | ドラッグリポジションの考えに基づく新規アルツハイマー治療薬の開発 | 水島 徹 (慶應義塾大学薬学部) |
| 14:50～15:15 | 企業の製剤開発におけるrTRの重要性 | 金 淳二 (小野薬品工業株式会社) |
| 15:15～15:40 | ニーマン・ピック病C型治療の最適化のためのrTR | 入江 徹美 (熊本大学大学院生命科学研究部) |
| 15:40～16:05 | 臨床知見を基にした脳梗塞治療へのDDSの応用 | 奥 直人 (静岡県立大学薬学部) |
| 16:05～16:15 | 休憩 | |
| 16:20～17:20 | パネルディスカッション | |
| 17:20～17:30 | まとめ | 杉山 雄一 (理化学研究所) |

■申込先：

URL: <https://ssl.form-mailer.jp/fms/2055594c197314>

■概要掲載HP：

URL: <http://www.sugiyamalab.com/>

■問合せ先：〒105-8512 港区芝公園1-5-30

慶應義塾大学薬学部 望月眞弓

Email: gakujutsu@pha.keio.ac.jp

■主催：日本学術会議薬学委員会医療系薬学分科会

日本薬学会

■後援：厚生労働省

日本医療薬学会、日本薬剤学会、

日本薬物動態学会